



伯耆町 農業委員会だより

平成31年1月発行 No.13



(大山雪化粧 撮影場所:大平原 撮影時期:12月)

新年のごあいさつ

伯耆町農業委員会会長 車 睦宏

新年明けましておめでとうございます。皆さま良き年を迎えられたこととお慶び申し上げます。昨年は全国的に地震、台風、大雨と地球温暖化の影響か、天候が不安定で短時間に大量の雨が降ることも珍しくなく、大規模な豪雨災害も発生しました。

特に台風24号では中山間地を中心に畦畔の崩落など農地、水路を中心に大きな被害が発生しました。

今年の田植えまで間に合うよう、復旧工事が進むのを願うばかりです。

農業委員会も改選から一年が経過する中、農業委員、農地利用最適化推進委員がどう活動をすべきか暗中模索する中、農地部会の中に農地利用最適化推進チームを立ち上げ、現在町内で農業法人の立ち上げを準備されている地元の方々と今後の問題点などを協議しているところです。

今年も積極的に地域に入り、農業委員、農地利用最適化推進委員として何が出来るか模索しながら行動をしていく一年にしたいと思います。

また、四月には平成天皇が退位され新天皇が即位されます。

新しい年号を迎え心新たに一日一日を大切に活動充実させたいと思います。

皆さま方のご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、皆さま方のご多幸をご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。



農地パトロール(利用状況調査)を実施しました!!

管内の農地の状況把握と農地法に基づく利用状況調査のため、平成30年9月1日に農地パトロールを実施しました。このパトロールは農地の実態把握と遊休農地の解消を目的としています。平成30年度の結果は以下のとおりです。

30年度調査結果		
	A分類	B分類
面積	88ha	113ha
筆数	77筆	3092筆

この調査をもとに今後の農地の利用意向調査を行います。

該当の方には担当委員が戸別訪問を行いますのでご協力をお願いいたします。

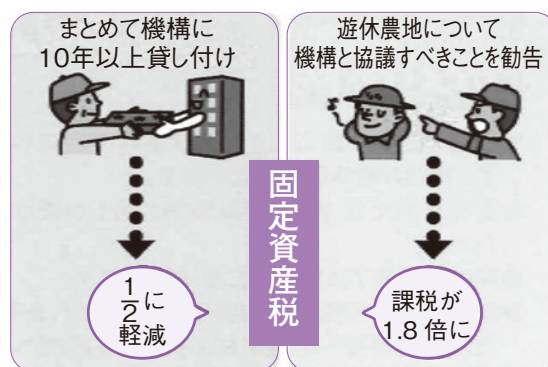
※A分類とは…再生利用が可能な荒廃農地

B分類とは…再生利用が困難と見込まれる荒廃農地

こんな時に
中間管理事業が
おすすめ!!

農地への課税軽減・課税強化について

- 所有する全ての農地(10a未満の自作地を除く)を新たにまとめて機構に10年以上貸し付けると、固定資産税が一定期間(10年以上で3年間、15年以上で5年間)、2分の1に軽減されます。
- 農業振興地域内の遊休農地について、農業委員会が農地所有者に機構と協議すべきことを勧告すると固定資産税の課税が1.8倍になります。



平成31年度 農業委員会活動スケジュール(予定)

4月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃…申請書等は毎月25日までに提出してください。
5月	定例会(議案審議・委員会等)/米フェスタ出席/鳥取県植樹祭
6月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃…申請書等は毎月25日までに提出してください。
7月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃/農業者年金友の会総会/農業委員会だより発行(25日)
8月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃/農地パトロール実施
9月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃/農地パトロール実施
10月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃/農地パトロール実施/ふれあい祭出席
11月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃/農地パトロール実施/農業者年金友の会研修会
12月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃/農地利用意向調査実施/農業委員会研修会
1月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃/農地利用意向調査実施/農業委員会だより発行(25日)
2月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃…申請書等は毎月25日までに提出してください。
3月	定例会(議案審議・委員会等)毎月10日頃…申請書等は毎月25日までに提出してください。

※ このほかにも、運営委員会、農地部会、広報委員会を随時行います。

※ 農地相談は、担当地区の農業委員または農地利用最適化推進委員にご相談ください。





コーナー「頑張る農家さん」

「自然と生きる」 たくさんの人に美味しい健康的な食材を提供したい！
～伯耆町に移住し地域の中で有機栽培に奮闘する青年就農者～

新規就農者 友田 裕信さん 40歳(番原)

日々食べる野菜を自分で作り、作った野菜で生計を立て、自然の中で仕事がしたいという思いをきっかけに就農することを決めました。

南部町の高木農園にて1年間有機農業の研修後、平成28年伯耆町番原に移住し営農しました。

平成29年に有機JASの認定を取得し、年間20品目ほどの有機野菜を生産しています。

番原や近隣の方々に手伝って頂いたり、助言を頂きながら日々奮闘しています。

- 経営状況 畑 1.3ha 水稻20a
- 趣味 旅
- 目標 安定した生産力をつけ、美味しく健康的な食材を多くの方に提供する事



友田さんは、この日学校給食センターに人参を出荷されていました。町内の小中学生にも自分の作った安心安全な野菜を食べてもらいたいという友田さん。子どもたちも喜んでいることでしょう。



口別所で人参を栽培



収穫した人参を綺麗にして



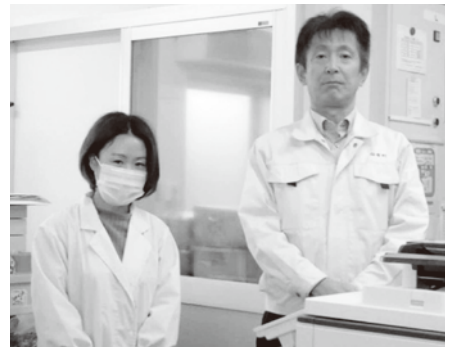
給食センターへ

～給食センター職員さんから～

友田さんには子どもたちのためにいつも新鮮な食材のご提供をいただきありがとうございます。人参が不足していたので、友田さんからご提供いただくようになりとても助かっています。これからも、よろしくお願いします。

少しずつ農地を増やし、自分のやりたい農業へ向かっている友田さん。取材した日、圃場で作業をしておられる友田さんに地域の方が声をかけられ、楽しそうに話しておられる姿をみて地域に溶け込んでおられるんだなとこちらも嬉しくなりました。

これからも美味しい食材の追及を頑張ってください!! 応援しています!!



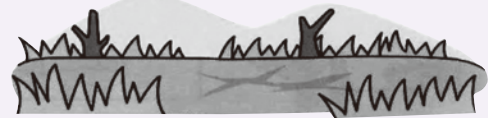
(取材者：亀山委員、椎木事務局職員、野口事務局職員)

地域の話聞かせてください！！

これからの地域農業と、 ご自身の農地利用について いっしょに考えてみましょう

地域の課題

- 農家の高齢化が進み、担い手が不足している
- 遊休農地が増えてきている



このままでは、地域農業の存続が危ぶまれる

あなた自身の課題

- 農地を貸したいが、借りてくれる人がいない
- 後継者がいないため、先々のことが心配だ
- 規模拡大したいが、農地の分散がネックだ



地域やあなたが抱える課題を解決するには、農業の担い手と農地の問題について、地域でしっかりと話し合うことが大切です。皆さんと一緒に実現する地域農業の「未来設計図」のため、農業委員、農地利用最適化推進委員と進めませんか？
皆さんからのご要望をお待ちしています。

編集後記

明けましておめでとうございます。本年も皆さまとともに活動し、よりよい委員会だよりが提供できるよう努めてまいります。

(委員 池口眞介)

身近な情報や紙面へのご意見感想などがありましたら事務局までお寄せください。

● 広報委員 委員長 亀山 英登
委員 車 睦宏、加川 賢明、内藤 賢一郎、井上 祥一郎
池口 眞介、井澤 百紀、宅野 哲司

連絡先
溝口分庁舎
農業委員会事務局
電話 62-0715